

同窓会初めての海外旅行

上海・蘇州・湖州・杭州の旅

中国に初代会長桑村さんを訪ねて

2004年11月9日～14日

その4：旅行記・第4～6日 2004年11月12日～14日

ホテル近郊、靈隱寺、中国茶葉博物館、西湖遊覧

上海東方名珠塔、外灘、豫園商城、上海雜技団



千葉県市川市立第二中同窓会・有志

4.4 第4日 2004年11月12日

(1) 湖州のホテル「湖州国際大酒店」付近の朝の街角



朝の街並みと

通勤風景



新風小学校・開門前です

小学生の
登校風景
黄色い帽子
日本の風景と
似ていますね



(2) 病院 (ホテルの近くにあった病院) : 病棟と受付風景



入院病棟と救急病棟

上の病院の
受付風景



(3) 湖州から杭州へ出発



宿泊したホテル湖州国际大酒店

バスに乗って
杭州へ出発



(4) 杭州市・靈隱寺

靈隱寺は東晋の咸和元年(326年)に建てられた。西湖で最も古い仏教寺院である。

当時インドの僧侶・慧理が飛来峰の下まで来ると、峰が素晴らしく見えて、「仙人が隠居しているところ」と思い、同地に寺を建立し、「靈隱」という名称を付けた。

本殿にある金色の釈迦像は、高さ 24.8m で中国最大の木彫座像である。羅漢堂の中央には世界最高の、高さ 12.62m の銅の御殿がある。

飛来峰の岩壁には、五代から宋・元以来、たくさんの、精巧で美しく、独特の風格を持った 340 尊以上の美しい仏教彫像が彫られている。これらは晩唐以降の中国石窟芸術における珍品である。



* ホテル「湖州国際大酒店」

は地図の右上の赤印

* 訪問した「靈隱寺」は地図の

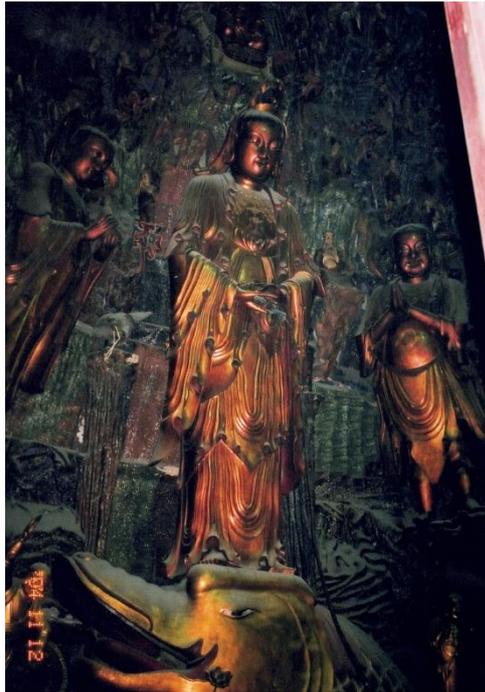
左端やや上の端、まる囲い

* 「中国茶葉博物館」は地図の真ん中辺り

やや左手、まる囲い



石塔：理公之塔



2004.11.12 靈隱寺入口にて

(5) 中国茶葉博物館

美しい西湖の西側に 22,000 平方メートルの竜井茶郷があり、その中に建築面積が 3,500 平方メートル、緑化の面積が 22,644 平方メートルの博物館ある。1991 年 4 月オープンし、現在中国の唯一のお茶の文化をテーマにする博物館である。

館内では、中国茶の歴史、茶の種類や茶の名品、茶についての活動、茶樹、茶の風俗など、茶文化について展示している。豊富な歴史文物の展示により、中国何千年もの茶葉文明の発展と軌跡を語っている。



博物館前に広がる茶畑（上下の画像）

(6) 西冷印社訪問

西冷印社（せいれいいんしゃ）は、中国浙江省杭州市郊外、西湖に浮かぶ島・孤山の麓にある篆刻(てんこく)を中心とする学術団体、及び関連企業・庭園の名称である。「西冷」の名は対岸との間にかかる橋「西冷橋」の袂に本社があること



による。「冷」と間違われやすいが「にすい」ではなく「さんずい」である。

篆刻中心の学術団体としての活動を続けながら、貴重な篆刻芸術や書画の数々を保有、公開している。

また、関連企業を設立して「西冷印社有限公司」の名で印章の受注販売、篆刻用品を中心とする書道用具の販売、「西冷印社出版社」の名で篆刻を中心とした書道関連書籍の出版・販売を行っており、オークション会社、西冷印社拍賣有限公司もある。

日本法人として「株式会社西冷印社」を持つほか、2002年には北京にも事務所を開くなど、その活動は衰えていない。



(7) 西湖遊覧

杭州西湖は中国浙江省杭州市にある湖です。我々が観光で訪れたのは2004年、その2年後の2006年には中国の国家AAAAA級旅行景区に、2011年には「杭州西湖の文化的景観」として文化遺産に登録されました。(2022.6.25 記)

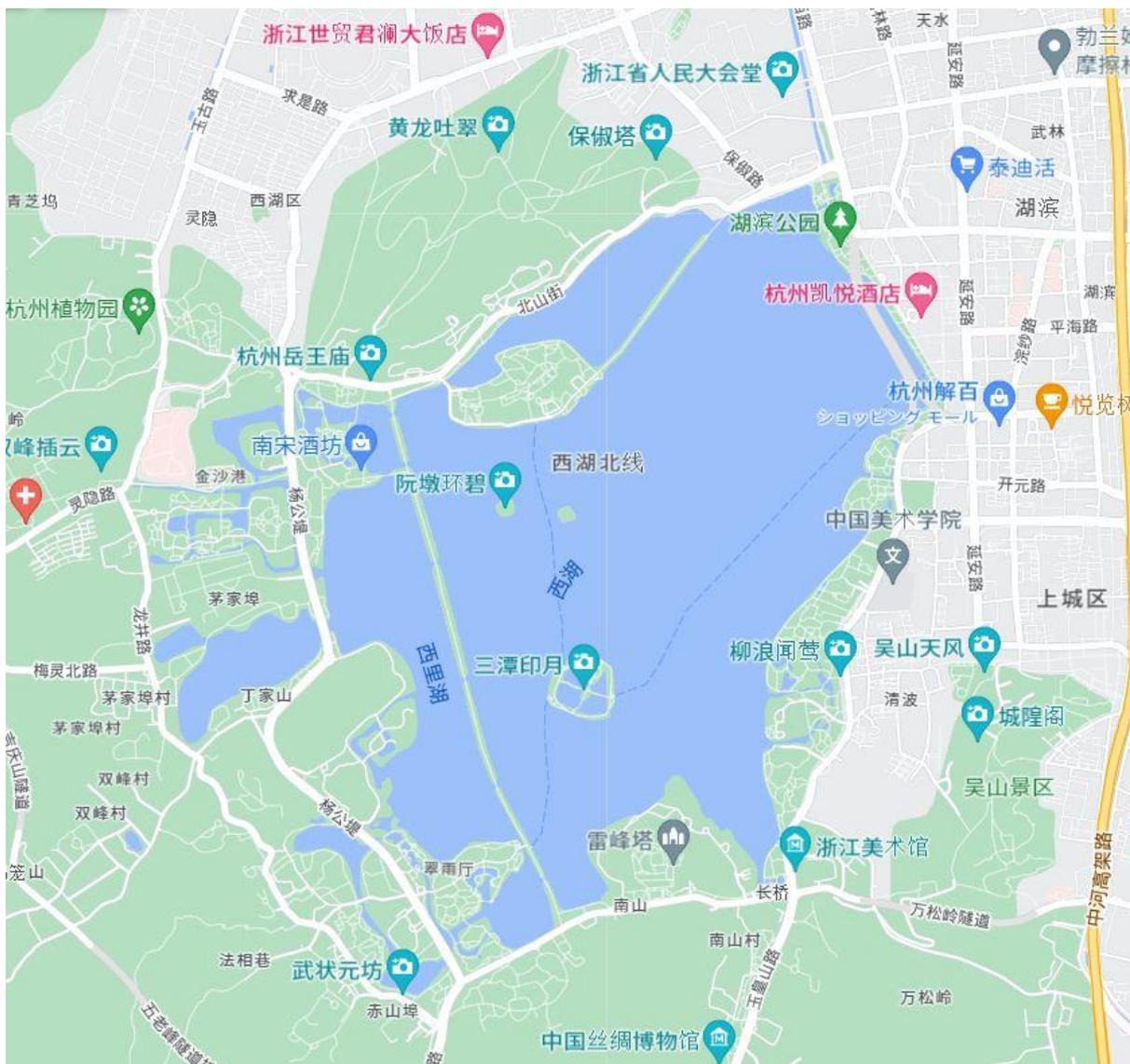


西湖の北東部に築かれた堤で、東端の断桥から西端の錦帯橋まで約 1km。西湖十景の「断桥残雪」と「平湖秋月」を結ぶ道になっている。完成当初は白沙堤といったが、宋代には孤山路、明代には十錦塘と呼ばれた。

また、明代以降、堤沿いに桃や柳の木の植林が始まった。



唐の詩人白居易（白楽天）が造った堤ということで「白堤」という説があるが、彼が杭州刺史（長官）時代に築いた堤防は別の場所であり、その堤はすでに存在していない。しかし、杭州の人々はこの偉大な詩人に対して敬意をこめ、現在でも「白堤」と呼んでいる。







(8) 11月12日 夕食・宿泊 杭州楼外楼：浙江省杭州市孤山路



4.5. 第5日 2002年11月13日

(1) 11月13日朝 白堤散歩・・・ホテルから徒歩15分で断桥へ
早朝、白堤で散歩を楽しみました。



爽やかな朝の散歩を満喫



中国では、どこに行っても路上や公園で朝は太極拳を楽しんでいますね

(2) 上海のシンボル東方明珠塔（テレビ塔）へ

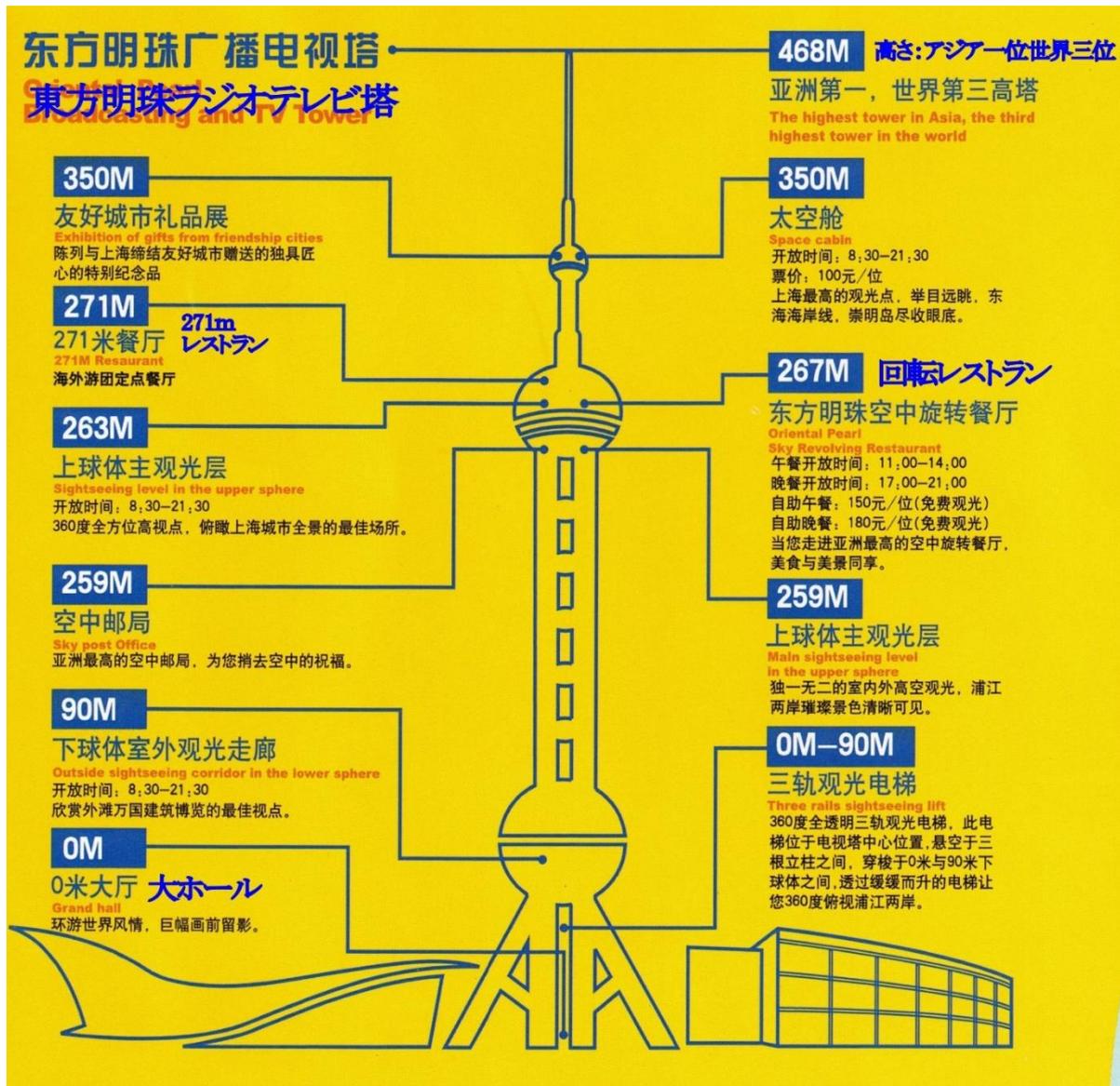
上海の街にそびえ立つ東方明珠塔、オリエンタルパールタワーとも呼ばれる上海のテレビ塔です。高さ468メートルの高さを誇り、訪問当時はアジア圏では第1番目、世界でも3番目に入るほどの大きさとなっていました。1991年に着工し1995年に完成、4年もの月日をかけて上海の街にひと際高く建築されましたタワーです。

東方明珠塔の特徴は、11個の異なった球体が直列につながられている事。一番のメイン球体は直径が50メートルと45メートルにもなり、三つの柱に支えられています。

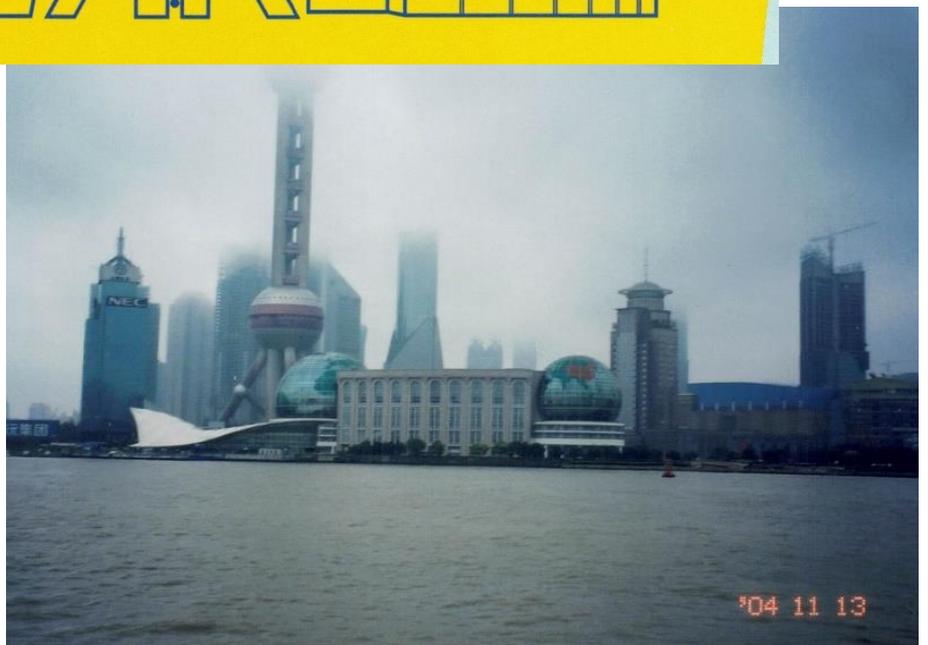
展望フロアは最上階の上球、中球、下球と分けられており、どこを見学するかで入場料が違ってきます。最上階の上球は350メートル、中級は263メートル、下球は

90メートルの所にあり、中球と下球は、夜景を楽しめるように、直接外のテラスに出られるようになっています。

***記憶には残っていないが、ガラス越しに景色を見ている写真があるので、上球体主観光階（上部観覧ホール）から下界を眺めたと思う。



上部がかすんだ
テレビ塔





468mのテレビ塔：高さ 263mの観覧階から下界を眺める

テレビ塔から見た
88階建て金茂大廈



当時中国一、世界第三位の高さを誇る88階建て金茂大廈

(3) 外灘(WaiTan ワイタン)

上海旅行のガイドブックで外灘を紹介するとき、「租界」という言葉がよく登場するようです。

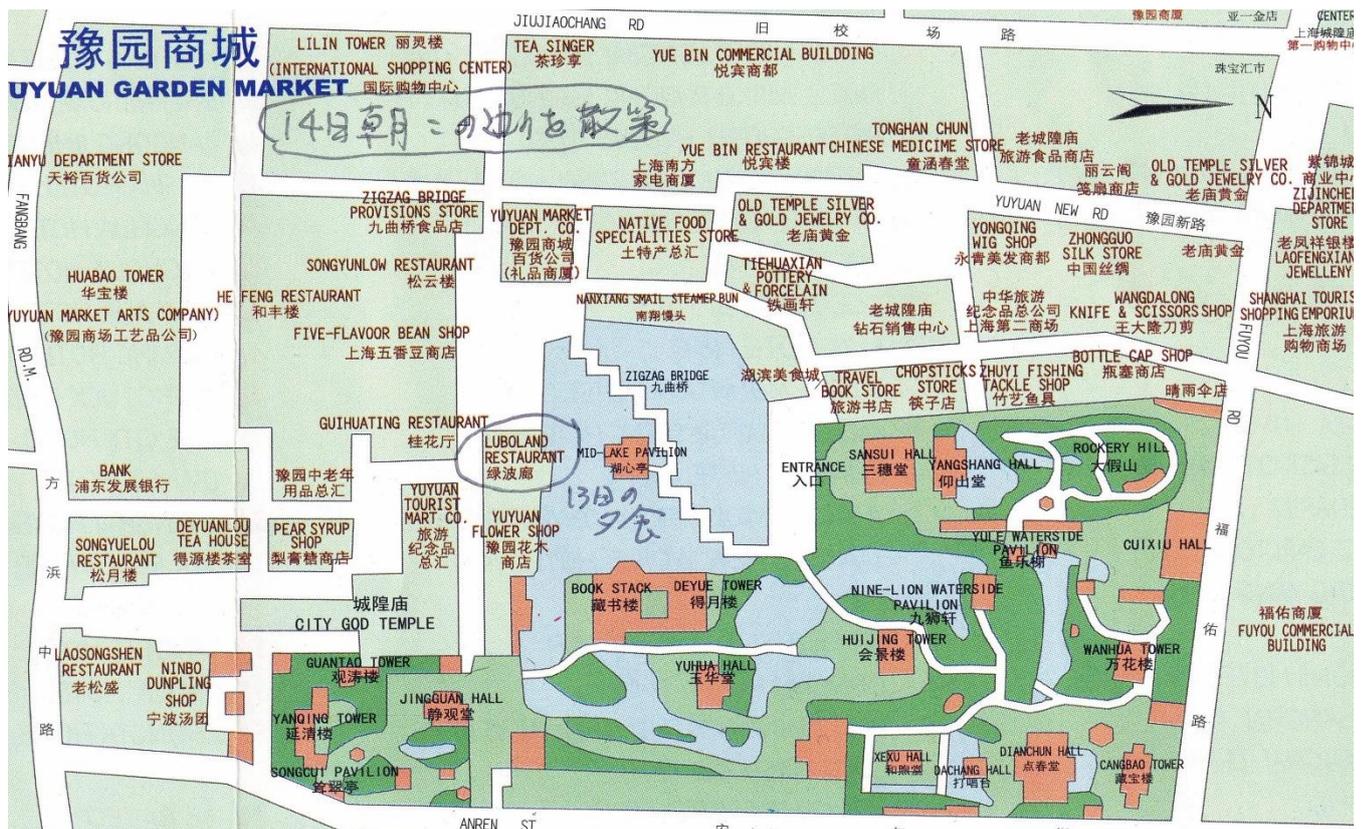
この租界とは、19 世紀中頃～20 世紀初頭の外国人居留地です。上海市内は、この租界があった時代に使われていた「老房子（ラオフアンズ）」という古い洋風建築があちこちに現存し、世界的な貿易都市として栄えた往時の面影を残しています。なかでも租界時代に「バンド地区」とよばれていた外灘は、各国の領事館や銀行、商館が集結した上海の経済と交易の中心地でした。当時の欧米各国でも最高水準の設計を取り入れた外灘の西洋建築群は、現在もほとんどそのままの姿を残し、20 世紀初頭の華やかな上海の歴史を今に伝える文化財として保護されています。

1920 年代～30 年代、黄金時代を迎えた上海では、ジャズが大流行していました。

そんな外灘を雨の中散歩しました。



外灘近くの豫園の商店街でお茶・その他、お土産を買いました。



「茶香園」というお店でお茶を買いました。前回中国を訪れた時も、ここでお茶を買っています。



中國傳統茶藝演示

鉄観音(てっかんのおん)

産地 福建安溪

特徴 茶葉は細く巻いており、黒いつややかな色あい味は芳醇で、ほろ苦さの後の甘味が残ります。

飲み方 茶葉を急須に対して3分の1入れ95度のお湯を注ぎ、1分後にそのお湯をすてます。その後、約8回程度お楽しみ頂けます。

茉莉珍珠(ジャスミン茶)

産地 福建省

特徴 茶葉は丸められた形から真珠にたとえられジャスミン茶の中でも高級品として扱われます。ほのかな甘さとジャスミンの香りをお楽しみ下さい。

飲み方 ティーカップに10粒程度入れ80度のお湯を注ぎます。丸まった茶葉がふんわりと広がって来たらお飲み頃です。その後、約6回程度お楽しみ頂けます。

品茗休憩的「茶香園」

一葉茶(苦丁茶)

産地 雲南省北西部の桃源郷

特徴 茶葉は一枚の葉を棒状に細長く丸めたものです。日本ではあまりなじみが無いお茶ですが、苦味の後に甘さを感じさせます。

飲み方 急須に対して1本の茶葉を入れ70度のお湯を注ぎます。約3分で飲みごろとなり、5~6回程度お楽しみ頂けます。

普洱茶(プーアル茶)

産地 雲南省

特徴 茶葉は一般的に濃い茶色です。味は微かに苦くて甘く、ビタミンCを多く含む食物の脂肪を分解する作用があります。

飲み方 1人当たり大きじ1杯程度の茶葉を入れ、90度のお湯を注ぎます。お好みに合わせて、1~3分待つと飲みごろとなります。約10回程度お楽しみ頂けます。

(4) 2004.11.13 宿泊：金門大酒店

夕食：緑波楼酒家・・・飲茶料理で有名とのことでした



2004. 11. 13
夕食を撮った
緑波廊酒家

上海豫園商城にある“緑波廊”レストランは中国の特級レストランであり、上海観光局が認可した涉外旅行観光レストランでもあり、生粋の上海料理店として知られている。上海料理、上海点心、蟹料理、鱻の鱠などの料理は材料の特選、丹念な調理、質量の安定、鮮明な特徴を持って国内外にその名を馳せている。イギリスのエリザベス女王を始め、四十ヶ国、地区の首脳や貴賓を迎えることがある。

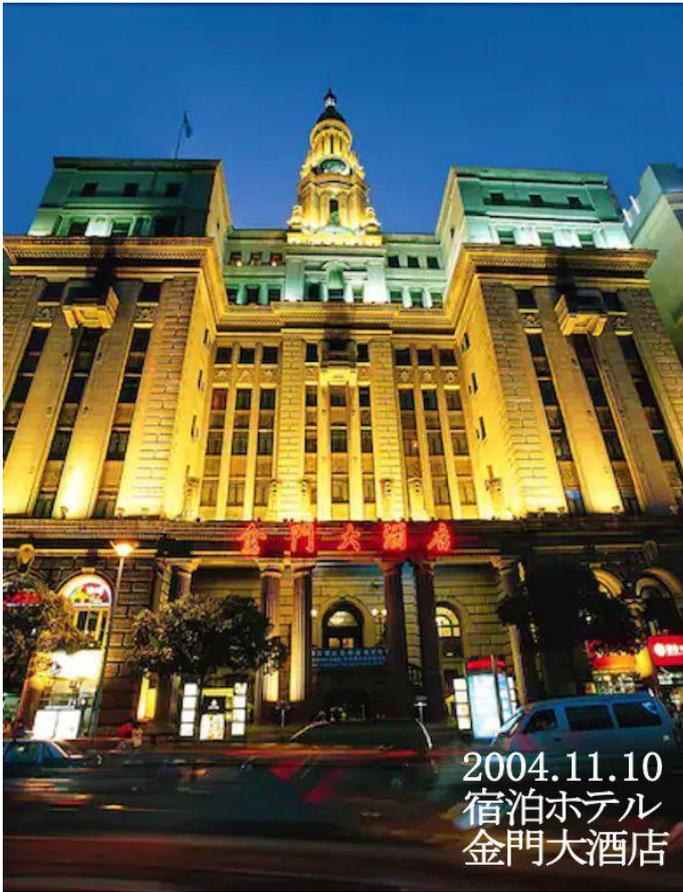


2004. 11. 13
緑波廊酒家で夕食
生粋の上海料理店
として知られている

明日は帰国、みんな
で、上海料理を楽し
みました。

ただ、残念なこ
とに上海蟹の姿茹は出
ませんでした。





2004.11.10
宿泊ホテル
金門大酒店

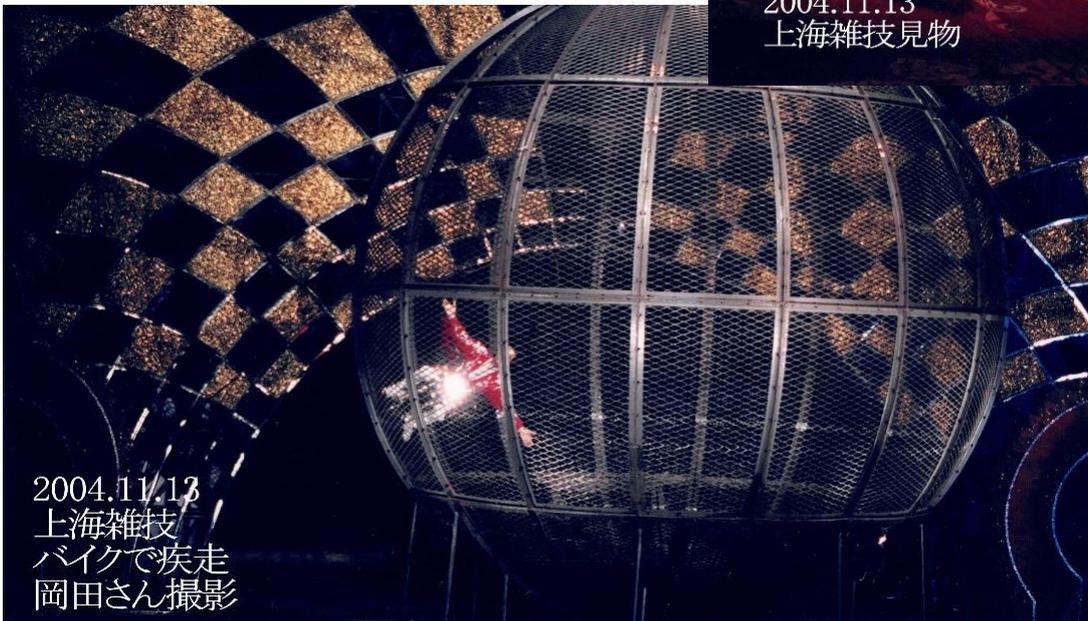


2004.11.13
宿泊したホテル
金門大酒店の
フロント風景

11月13日雑技見物に行った
人から貰った写真です



2004.11.13
上海雑技見物



2004.11.13
上海雑技
バイクで疾走
岡田さん撮影

4.6 2004.11.14 最終日

最終日は朝、近隣の散歩と帰り支度
楽しかった旅もいよいよ最終段階に
なりました

早朝の繁華街、
まだ人影もまばらでした



2004.11.14
ホテル近隣の
商店街
まだ人影もまばら

この後、13時00分 ホテル発
16時25分 上海発 空路 成田へ
20時00分 成田着

- *お疲れ様でした。同窓会初めての海外旅行、楽しい思い出に残る良い旅でした。
- *締めくくりとして、2004年12月12日に、桑村さんも参加されて、参加者による写真交換会を実施しました。



2004.12.12
旅行参加者の
写真交換会
於山崎マルシェ
添乗員周さんを含め
18名が参加

完